

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

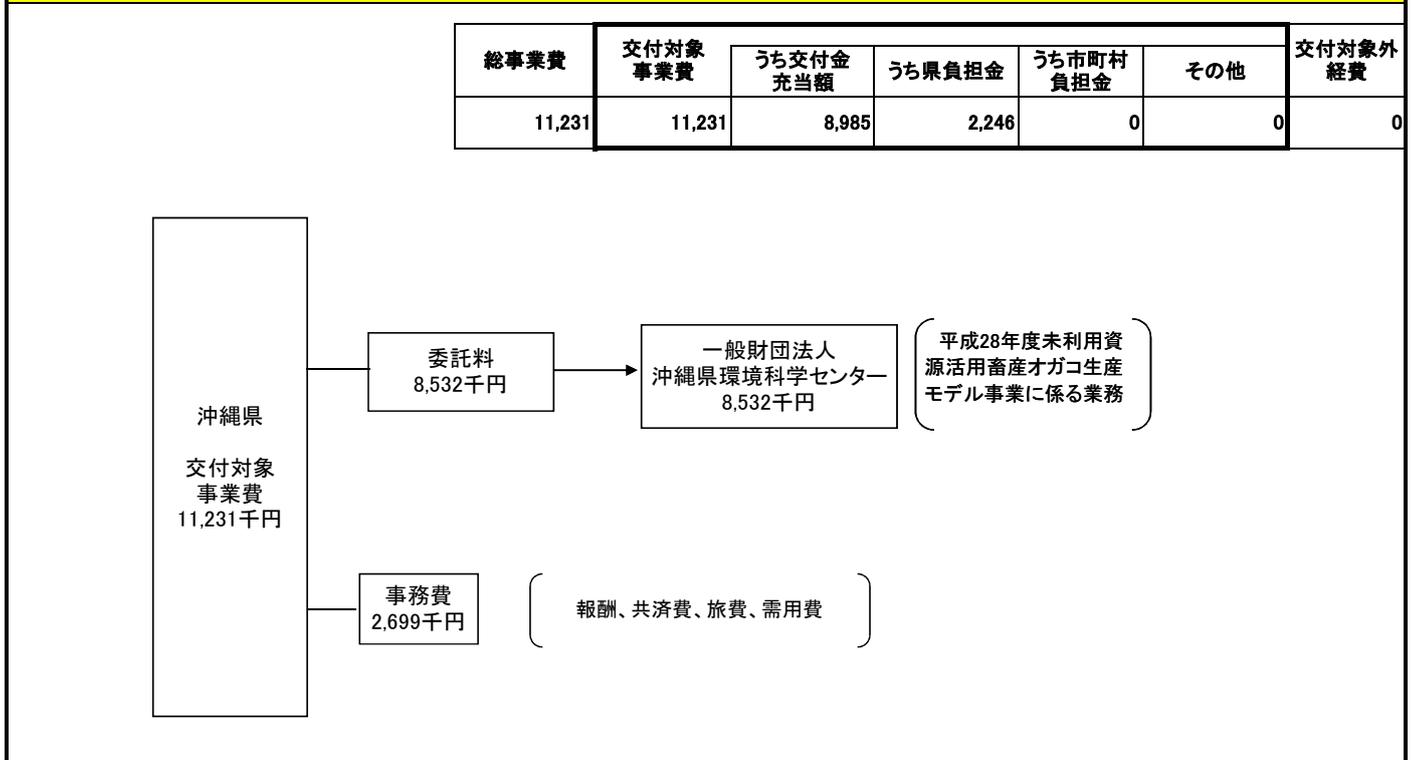
事業番号・事業名	112	未利用資源活用畜産オガコ生産モデル事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(2)-ア			
担当部課名	農林水産部 畜産課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 29 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	3Rの推進		
事業内容	畜産環境改善に優れる「オガコ」の安定供給、低コスト化、定品質等の課題を解決するため、堆肥センター等と連携した生産・利用モデルの作成に向けた調査、検討研究などの取組みを実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】		26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	0	-	11,820	0	11,458
		(b) 予算現額	0	-	11,820	0	11,479
		(c) 増減額 (b-a)	0	-	0	0	21
		(d) 前年度繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計 (b+d)		0	-	11,820	0	11,479
	B. 執行済額		0	-	11,029	0	11,231
	うち交付金充当額		0	-	8,786	0	8,985
	C. 次年度繰越額		0	-	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		-	-	93.3%	-	97.8%
予算の状況の説明		予算執行率は97.8%であり、経費節減により不用額が発生したことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	剪定枝オガコの堆肥化について試験研究機関で検討する。	目標	-	-	-	剪定枝オガコの堆肥化について検討	
		実績	-	-	-	剪定枝オガコの堆肥化について検討	
	剪定枝の活用で懸念される有毒植物混入予防に係る有毒植物生育状況地図の作成に向けた調査を実施する。	目標	-	-	有毒植物生育状況地図の作成に向けた調査の実施	有毒植物生育状況地図の作成に向けた調査の実施	
		実績	-	-	有毒植物生育状況地図の作成に向けた調査の実施	有毒植物生育状況地図の作成に向けた調査の実施	
	堆肥センター等における畜産向け剪定枝オガコ生産モデルの設置1箇所	目標	-	-	-	1箇所	
		実績	-	-	-	0箇所	
	達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 研究機関(畜産研究センター)において剪定枝オガコの堆肥化について研究を実施したことから目標を達成した。 宮古・石垣地域の有毒植物(キョウチクトウ、ミフクラギ、ソテツ、センダン)の生育状況を調査したことから、目標を達成した。 畜産向け剪定枝オガコ生産モデルの設置については、品質の良い畜産向けオガコの生産に向けて、より良いモデルの作出を検討し、関係機関と調整する必要があったため、目標は未達成となった。 畜産向け剪定枝オガコ生産モデルの作出に向けて、有毒植物の混入防止ルールを構築するため、本島中南部地域でヒアリング調査を行った。 有毒植物混入の有無に係る検査手法として、化学分析、生物試験、遺伝子検査の3種類の検査手法を検討・開発した。 					

成果目標 (指標) 及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値	26年度	27年度	28年度	目標値	
	剪定枝等未利用資源を活用した畜産向けオガコ生産モデル作出に向けてのデータ収集	目標				粒径、水分のデータ収集及び有毒植物生育状況地図の作成	剪定枝オガコの堆肥化のデータ収集及び有毒植物生育状況地図の作成	-
		実績				粒径、水分のデータ収集及び有毒植物生育状況地図の作成	剪定枝オガコの堆肥化のデータ収集及び有毒植物生育状況地図の作成	-
		目標						
		実績						
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 研究機関(畜産研究センター)において剪定枝オガコの堆肥化に係る研究を行い、堆肥化によって有毒植物(キョウチクトウ)の有毒物質が分解されることを確認し、データを収集できたことから成果目標を達成した。 有毒植物混入防止に係る有毒植物生育地図の作成に向け、宮古・石垣地域における有毒植物(キョウチクトウ、ミクラギ、ソテツ、センダン)の生育状況を調査し、データの収集を行ったことから成果目標を達成した。 							

H28-No.112

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> キョウチクトウの有毒物質が堆肥化によって分解されることを確認したが、分解物の毒性については不明であり、安全性に課題がある。 事業推進の課題として、オガコの安定供給、価格、品質に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 堆肥化等による有毒物質分解物の毒性の有無を判断するため、確認試験を実施する必要がある。 オガコの安定供給、低コスト化、定品質等の課題を解決するため、剪定枝を活用した畜産向けオガコ生産モデルの作出が必要である。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度は、堆肥化等による有毒物質分解物の毒性の有無を判断するため、確認試験を実施する。 平成29年度は、良質な畜産用剪定枝オガコを生産するため、粉碎方法の検討、改良方法の検討及びオガコの試作を実施する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 費目 の 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、業務の内容および特殊性等から平成27年度公募型プロポーザル方式により選定しており、前年度の実績と蓄えたノウハウを生かし、限られた期間内で円滑に業務を遂行するため、本事業に熟知し必要な業務体制を備えた業者と随意契約を行い、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出に関する書類により確認し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	